

全国青年市長会を通じた「冷凍ホタテ」の 学校給食活用について

○経過

- ・国内の水産業がALPS 処理水海洋放出を起因とした中国の禁輸により、ホタテガイ漁業・加工業への影響が大きく、国内への供給過多により製品在庫が積み上がる一方で、対応に苦慮されている。
- ・青森県むつ市では、国の風評影響対策事業補助金を活用し、消費拡大を図るため学校給食の食材としてホタテガイ加工品を無償提供し、需要喚起に加えてホタテガイの味覚に親しんでいただくことで魚食普及にも貢献していきたい考え。
- ・むつ市の山本市長より北海道・東北地区の全国青年市長会会員宛てに、学校給食における「冷凍ベビーホタテ」の活用についての呼びかけがあった。
- ・このことから、むつ市の協力のもと、本市において「冷凍ベビーホタテ」を活用した学校給食メニューを提供する。

※全国青年市長会

目 的：新しい時代を切り拓くために、会員同士の若い情熱とエネルギーをぶるけあい、ともに本音で研鑽し、もって地方自治の発展に寄与する。

資 格：趣旨に賛同し、49歳までに当選した市長

概 要：会員相互の意見・情報交換会の開催、市政に必要な施策の調査研究 など

会員数：109名（R 5 年 8 月時点）

会 長：茨城県行方市 鈴木 周也 市長

○学校給食での提供（予定）

使用量 ：冷凍ホタテ 138kg

提供時期：1月下旬 ホタテのミルクスープ、中華丼

2月下旬 クラムチャウダー